

## 企画提案書作成要領

### 1) 動画の設計と提案のポイントについて

今回制作する動画は、本学の若手教員を、教育・研究を代表する「顔」として描き、広報戦略上、タレントイノベーションが実施できる動画であることがポイントとなります。

従来より、動画づくりの要件として「比較するモノサシがあること」や、「楽しく学びながら教育・研究を理解できること」は提示してきましたが、今後も同じコンセプトで番組制作を続ける場合は特に“共通する表現のクセ”が必要とも考えています。

演出、編集、映像、ナレーター、ナビゲーター…どこにそのクセ、味わいを求めるかが大切になりますし、興味深く、飽きずに見ていただくためにその工夫が不可欠と考えます。

昨年度からどちらかといえばドキュメンタリー映像の方向を検討しており、参考とする「プロフェッショナル—仕事の流儀」・「プロジェクトX」・「情熱大陸」・「カンブリア宮殿」…ドキュメンタリーで研究や開発に迫った映像には、それなりの“クセや匂い”があります。

ストーリーやドラマ性を高めるための工夫も必要です。社会的にどんな意味を持つものか、やがてどんな貢献が出来るのか、教員の収録には人間性に及ぶ部分や、社会との接点を示すものも必要でしょうし、最後まで飽きずに興味を持って見ていただくために、演出・編集方法では、全体の統一感などを工夫するなど、オープニングやエンディングに臨場感や高揚感、さらにインパクトが必要とも考えています。

後述 3)の番組基本フォーマット例を参考に、4)の例題で、動画構成およびその制作方法を提案してください。ラフで結構ですが、どんな味付けで、どう表現していくかなど、具体的な展開方法を落とし込んでいただければと存じます。

### 2) 企画提案書に記載いただく項目

#### ① 指定題材での動画構成

後述の 3) 番組構成フォーマットを参考例として、指定した題材で、具体的な番組構成、表現等を提案すること。

出来る限りパイロットテープや絵コンテなどで、提案の特徴や仕上がりイメージがわかる方法を検討すること。

但し、タイトルを含むオープニング部分については下記仕様の動画を大学が提供する予定としており、以外の部分の提案でかまわない。

1) 冒頭部分 0:00～2:30 で毎回統一して使用するオープニングムービー。タイトルを含みシリーズ動画のコンセプトを反映したもの

2) タイトルロゴ(カラーは再考)およびテーマソングを踏襲したもの

#### ② 制作実施体制

担当部署、役割、固定化する主要スタッフは氏名なども記載し、実施体制を明快にすること。

外注先がある場合は法人名、担当者、役割などを明記すること。

#### ③ 実施スケジュール

対象教員を提示してからの企画・収録・編集・校正等の 1 回分のタームおよび 6 回の制作時期にについて記載すること。

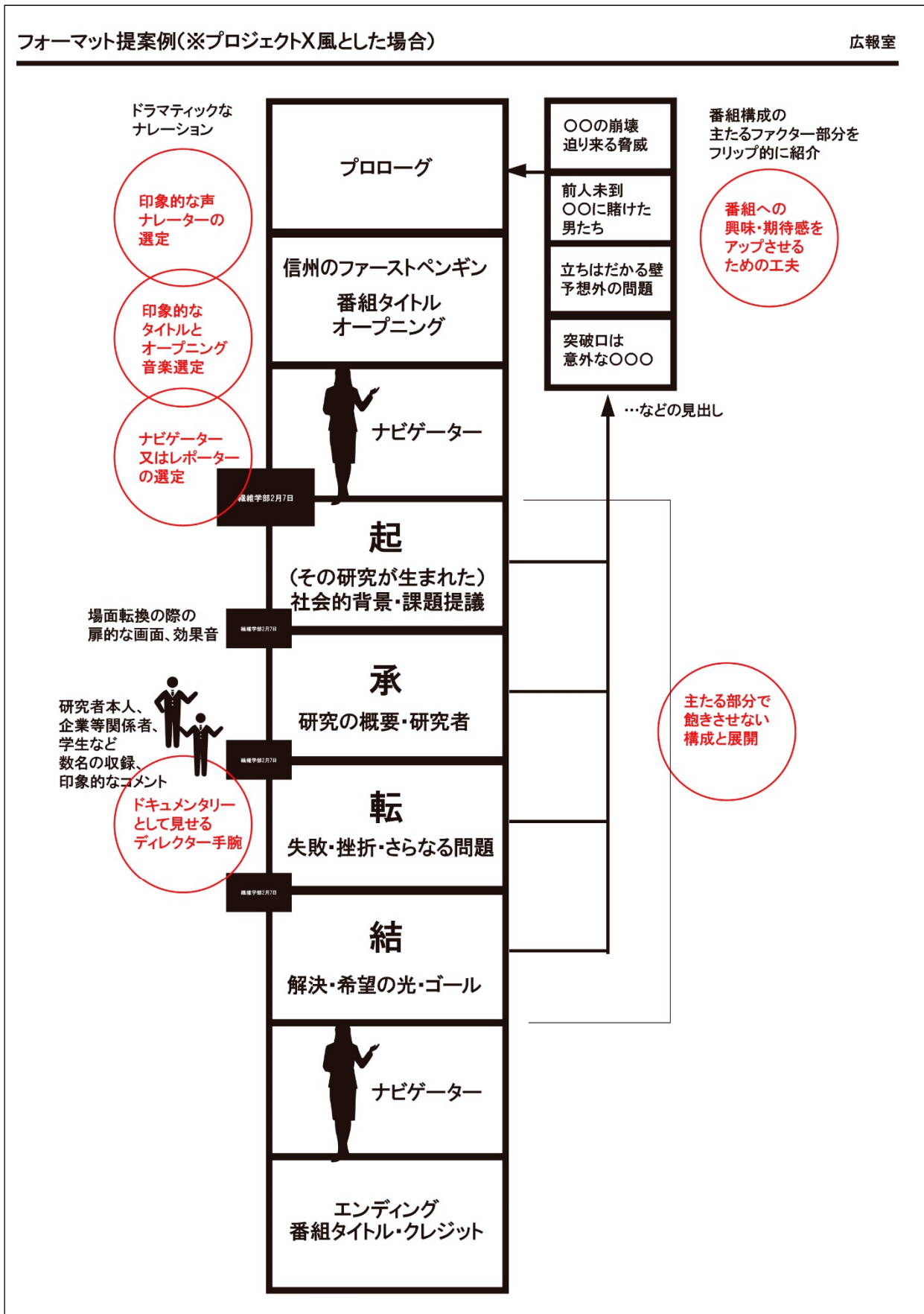
#### ④ 実績一覧およびサンプルの提示

同種または類似業務の実績、およびサンプルも可能な限り提出すること。

#### ⑤ 動画再生回数増加のための施策、告知方法、その他の広報協力メニュー

1 年度分を記載すること。

### 3) 番組構成フォーマット提案例



※上記を参考にして動画構成の提案書を作成すること。

#### 4)提案いただく構成台本の題材

### 次世代を担うソフトで軽量な人工筋肉「PVC GEL」 繊維学部橋本研究室

急速に進む少子高齢化の中、特に医療福祉分野において人との親和性や安全性に配慮したアクチュエータ(駆動装置)が求められています。

そこで橋本 稔特任教授率いる同研究室では、高分子素材の中でもソフトで軽量、静音でありながら大気中で安定的に伸縮動作をする「PVC ゲル人工筋肉」に着目して研究開発を進めています。

PVC ゲルの変形する性質は、生体筋によく似ており、人工筋肉として有望な次世代アクチュエータです。(下記WEBサイト参照)

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/chair/ht-lab/project/pvc.php>

※説明会の際に、信州大学広報誌「信大NOW」誌面のPDFなどの資料を提供します。

#### 5)備考

信州大学放送公開講座 2019「信州のファーストペンギン～夢を拓くイノベーターたち～」

第1回～第5回放送分は「信大動画チャンネル」(下記URL)からご覧いただけます。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/media/movie/social/>